

みんなでたのしむオペラ ヘンゼルとグレーテル

2018年6月3日(日)
11:00 開演 / 14:00 開演
神奈川県民ホール 大ホール

昨年7月から改修休館していた神奈川県民ホールのリニューアルを記念して、オープンシアター2018が開かれます。子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさん！中でも見逃せないのは、初めてのオペラ鑑賞にぴったりのオペラ『ヘンゼルとグレーテル』。今回はその見どころをご紹介します。

さあ、みんなおいでよ。夢いっぱいのオペラの森へ！

●世界中で愛されるグリム童話がオペラに！ 森を舞台に繰り広げられる、ファンタジー

神秘的な森に、妖精、コウ～イ魔女、そしてお菓子の家。『ヘンゼルとグレーテル』は、子どもたちの大好きなものが散りばめられた、夢いっぱいの物語。そしてドイツの作曲家フンパーディンクによる音楽は、思わず口ずさんでしまうほどの楽しさ。子どもたちはもちろんのこと、大人の心も掴んで離さない名作オペラとして、とりわけドイツ語圏のオペラハウスではクリスマスの風物詩として親しまれています。



エンゲルベルト・フンパーディンク (1854～1921年)
ワーグナーの影響を強く受けたドイツの作曲家。『ヘンゼルとグレーテル』は、親しみやすさのなかにも、19世紀末の最先端の作曲技法が満載の本格オペラ作品。

●注目の指揮者と個性豊かな4人のソリスト

神奈川県民ホールを率いるのは、若手指揮者の沖澤のどか。ドイツオペラ界の希代の新星です。兄のヘンゼルを演じるのは、近年『フィガロの結婚』の少年ケルビーノや、『こうもり』のオルロフスキー公爵役でも注目を集めた美貌のソプラノ、青木エマ。オペラからミュージカルまで大活躍、チャーミングなオーラが魅力の鷗木絵里は、これまでに何度も演じた当たり役のグレーテルで登場。世界的にも稀有な天性のソプラニスタ(男性ソプラノ歌手)、岡本知高は、何とママ役・魔女役の一人二役を演じります。パパ役は、今回の訳詞台本も務め、そのエンターテイナーぶりで聴衆を魅了してやまない宮本益光。個性あふれる4人のソリストの、客席をグイグイと引き込む演技は必見！



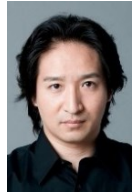
青木エマ 鷗木絵里 岡本知高 宮本益光



沖澤のどか 神奈川県民ホールハーモニー管弦楽団
児童合唱: 赤い靴ジュニアコーラス・赤い靴スタジオ

●田尾下哲(演出) × 宮本益光(訳詞・台本) オペラ界の異才2人の黄金タッグ！

県民ホールの開館40周年記念オペラ『金閣寺』や、オペラ『ハーメルンの笛吹き男』、オープンシアター2013・2016の音楽劇『動物の謝肉祭』を手がけた演出家、田尾下哲。そしてオペラはもとより、年末のファンタスティック・ガラコンサートでもおなじみの多才なバリトン歌手、宮本益光。今回、県民ホールに欠かせないオペラ界の異才2人がタッグを組み、原作を75分に再構成。宮本益光がこの公演のために書き下ろした日本語のオリジナル台本で、県民ホールでしか観ることのできないスペシャルな『ヘンゼルとグレーテル』をお届けします。



田尾下 哲



宮本益光

ボクとワタシのオペラデビュー！

★初めてでも安心！日本語上演

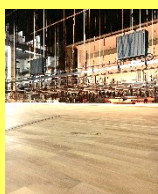
今回の県民ホールのオペラ『ヘンゼルとグレーテル』は日本語上演。子どもたちはもちろん、オペラを初めて観る方にもわかりやすく、オペラデビューにぴったりです。

★プレクチャーで見どころチェック

人気ピアニスト・作曲家の加藤昌則が、プレクチャーで見どころを解説。予習なしでも楽しめますが、加藤さんの楽しいトークを聞けば楽しさが倍増すること間違いなし！(①10:15～②13:15～各回15分・申込不要)

あらすじ

『ヘンゼルとグレーテル』は、仲の良い兄妹のヘンゼルとグレーテルが、お母さんに言いつけられて森で野いちごを摘むうちに迷子になり、妖精に助けられ、お菓子の家に住む魔女を退治してハッピーエンドを迎える物語ですが、今回はすべての子どもたち、大人たちに贈る“親子の愛を見つめなおす物語”として、どこにでもあるあたたかな家庭から物語は始まります。やんちゃざかりの子どもたち、ヘンゼルとグレーテルのいたずらに疲れたママは、ある日パパと一緒に大胆なしつけを考えて…？



40年の歴史ある県民ホールが生まれ変わった！

客席からは一見、何の変化も見られませんが、舞台機構と電気設備がリニューアル。これまで以上に大掛かりな演出をお楽しみいただけるようになりました。大ホール客席内ではユニバーサルデザイン、バリアフリー化も。新しくなった県民ホールをこれからもよろしく願います！

(写真は、大ホールの舞台。全面ひのきの床に張り替えました。)

みんなでたのしむオペラ ヘンゼルとグレーテル

6月3日(日) 11:00 / 14:00 開演 大ホール

全席指定: 子ども(4歳～中学生) 1,500円

一般(高校生以上) 2,500円 / 親子(子ども1枚 + 一般1枚) 3,500円

チケットかながわ 0570-015-415 (10時～18時)

※公演内容の詳細はチラシをご参照ください。